

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほっぷ・すてっぷ		
○保護者評価実施期間	2024年 1月 20日		2024年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36 (回答者数)	30
○従業者評価実施期間	2024年 3月 10日		2024年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動を考え取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> 活動の内容が偏らないよう、毎月会議を開き話し合いを行って決めている 社会規範や人との距離感、協調性を学びながら、楽しく活動に参加できるようにしている。 	会議を増やす事で、それぞれの意見やアイデアを出す事で充実した活動に取り組めるようにしていく
2	個別訓練の中で課題に取り組む事で出来る事を伸ばしている	<ul style="list-style-type: none"> 遊び場所と個別訓練の場所を衝立等で仕切る事で、課題に集中し取り組めるようにしている 児童発達支援計画書に沿って、個別の課題を考え取り組んでいる 課題の内容を記録に残す事で、職員間で共有したり、次の課題への段階に繋げている。 	教材の種類を増やしたり、能力に合った教材や内容、方法を段階的に積み重ねたりする事で、成功体験に繋がるようにしていく
3	環境の構造化	<ul style="list-style-type: none"> 全体スケジュールの提示と別に朝の会と帰りの会の内容を細かくスケジュール化する事で、その見通しと終わりを分かりやすくしている。 特性に合わせて個別スケジュールをボードの提示している。 棚に玩具の写真を提示する事で、片付けの場所をわかるようにしている。 児童が見える位置に、歯磨きや手洗い、声量グラフ等視覚支援を貼り、いつでも確認できるようにしている。 個別訓練の場所に衝立をつくる事で、遊びの場所を分けている 	児童の特性に合わせて視覚支援を作成する事で、見通しをもてるようにしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内の環境	<ul style="list-style-type: none"> 室内が狭い為、運動等をする時が思いっきり体を動かせない 	衝立等で構造化していく
2	保護者会を設ける	<ul style="list-style-type: none"> 全体事業所での保護者会は、開催しているが平日に行われている為、参加者が少ない 	年間計画のお便りを提出し、開催日の周知を早めに行う
3			